

# シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE  
97

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくり」との意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年 JST (NGO: アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始め。2013年「アンコールの都の西北」に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。  
JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

## MoiMoi Life in Siem Reap Trilingual Non-chan

Large numbers of Cambodian children in rural areas drop out of school, or graduate without being fully literate in Khmer or being able to do simple math. We were surprised at the number of students at Bayon Junior High School who struggled with reading/writing. Teachers are aware, and so direct questions at those students who are more able, so as not to embarrass the underperformers.

Bayon Junior High School is also home to some outstanding student – Non-chan being one. She participated in Japanese lessons since primary school, and also English classes held by an NGO. She uses her abilities to help Japanese teachers who can't understand Khmer, and also helps out other kids in music class.

Raising more students like Non-chan is another reason to be excited about managing the junior high school.

## ノンちゃんはトリリンガル

小学校、中学校の義務教育が徹底されていないカンボジアの農村部では、まだまだ小学生の退学者が多数いることはもちろん、たとえ小学校を卒業したとしても、クメール語が満足に書けない生徒や、簡単な計算ができない生徒が多数います。バイヨン中学校も例外ではなく、そんな生徒は全体の半数にものぼるという調査結果も出ています。先日、生徒に簡単なアンケートに答えてもらったところ、クメール語であるにもかかわらず、隣の生徒に書いてもらっている生徒がいて驚きました。先生方はそのあたりの事情はよく理解し、生徒が恥をかいて学校嫌いにならないよう、授業中の質問は答えられる生徒にしか当たらない、などの工夫をしているそうです。

一方、驚くほど優秀な生徒も一人二人いて、バイヨン中学校新3年生のノンちゃんもその一人です。何事にも積極的で好奇心旺盛な彼女は、バイヨン中学校が創設された5年前から、課外授業で行っている日本語教室に小学生ながら参加し、そ

の他、村の子供を対象としたNGO主催の英語教室にも通っていたようです。

ノンちゃんが一気に注目を浴びるようになったのは、運動会での生徒代表英語スピーチです。ネイティブさながらの発音、よどみなく流れ出る英語に、皆が聞き惚れました。さらに、JSTインターン学生が教えている週1回の音楽の授業のこと。半年前からは、なんと日本語-クメール語の通訳を行うようになったのです！ もちろん、未知の日本語はまだたくさんありますが、カンボジアに来たばかりで全くクメール語が話せない日本人の先生を助け、直訳するだけでなく、これまでに音楽の授業を受けたことがないカンボジアの生徒たちが理解できるよう工夫を凝らしながら、通訳として活躍しています。

ノンちゃんのように私たちの想像を超えた伸びしろをもつ生徒をどのようにサポートしていくか…、中学校運営にあたっての今後の楽しみが一つ増えました(笑)。